

『アニー・ホール』 原題 <i>Annie Hall</i> 1977年		執筆：清水 純子
制作国	アメリカ	
スタッフ&キャスト (監督、脚本家、俳優、その他)	<p>スタッフ：監督ウディ・アレン/ 脚本 ウディ・アレン、マーシャル・ブリックマン/ 製作：チャールズ・H・ジョフィ、ジャック・ローリンズ/ 製作総指揮：ロバート・グリーンハット/</p> <p>キャスト：ウディ・アレン：アルビー・シンガー/ダイアン・キートン：アニー・ホール/トニー・ロバーツ：ロブ /キャロル・ケイン：アリソン・ポーチニック/ポール・サイモン：トニー・レイシー /シェリー・デュヴァル：パム /</p>	
画像		
カラー・モノクロ	カラー	
時間	93分	
ストーリー	<p>アルビー（ウディ・アレン）は、ニューヨークのテレビやナイトクラブで活躍するユダヤ系のコメディアンだが、歌手志望のアニー（ダイアン・キートン）と同棲生活に入る。気が合わなくなると気軽に別れるニューヨークの常で、2人もしだいに溝ができて、アニーは新しい相手とカリフォルニアに行ってしまう。アニーに去られて初めてその大切さに気づいたアルビーは求婚しにアニーを追いかけていくが、返事はノー。ニューヨークに戻ったアルビーは、新しい相手と同棲後再び別れたアニーと再会し、友人として過去を楽しげに回想する。</p>	
時代設定	20世紀後半	
場所	ニューヨーク	
社会背景	<p>ニューヨークは、世界の金融を牛耳り、世界中の商業、文化、ファッション、エンターテインメントの中心地として君臨する。</p>	
文化的背景	<p>アメリカの文化活動の中心地であるニューヨークを20世紀後半に支えたのは、ユダヤ系の人々、ニューヨークの都会的で開放的な生活は、斬新な芸術運動を誕生させた。人間関係が自由で流動的で、個人主義である。概して恋愛関係は、安定志向ではなく、変化を常とする。孤独と不安停のためにコカイン、あるいは精神分析医に頼る人も比較的多い。</p>	
使用言語	英語	

テーマ	ニューヨーカーの恋愛と生活を現代風に描く、出会いと別れに伴うペース。
みどころ	ユダヤ系インテリの斜にかまえたペースに富む人生観とユーモア。
印象深いせりふ	<p>ALVY : The-the other important joke for me is one that's, uh, usually attributed to Groucho Marx, but I think it appears originally in Freud's wit and its relation to the unconscious. And it goes like this-I'm paraphrasing: Uh ... "I would never wanna belong to any club that would have someone like me for a member." That's the key joke of my adult life in terms of my relationships with women.</p> <p>.....</p> <p>ALVY : Who? Grammy? Grammy Hall?</p> <p>ANNIE : (Laughing and nodding her head) Yeah, my grammy.</p> <p>ALVY : You're jo- Whatta yuh kid- What did you do, grow up in a Norman Rockwell painting?</p> <p>ANNIE : (Laughing) Yeah, I know.</p> <p>ALVY : Your grammy!</p> <p>ANNIE : I know, it's pretty silly, isn't it?</p> <p>ALVY : Jesus, my-my grammy ... n-never gave gifts, you know. She-she was too busy getting raped by Cossacks.</p>
授業教材用 メリット	ニューヨーカーの英語が聞ける、洗練されたユーモア、凝ったジョークだが軽快なタッチで肩がこらない、ニューヨークのユダヤ系インテリの感性がよく出ている。
授業教材用 デメリット	皮肉でひねったユーモアがわかりにくい、ユダヤ系の人々の歴史や背景がわからないと理解しにくい。
映像入手元	20世紀フォックス・ホーム・エンターテイメント・ジャパン
原作の有無	無
支持反応	Rotten Tomatoes 評価 (批評家 99、観客 93)
キーワード	ニューヨーク、都会、セックス、恋、出会いと別れ、ファッション、アニー・ホール・ルック、ユダヤ性、コメディ、カリフォルニア、精神分析、フロイト、インテリ、テレビ局、コカイン、変化と不安定、自由と自立。

Copyright © Junko Shimizu All Rights Reserved.

★本サイトに掲載される情報の著作権は、清水純子に帰属します。

許可なく複製、改変、アップロード、掲示、送信、頒布、販売、出版等を禁止します。